

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施計画期間	令和4年度～令和8年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（ひだがわ） 飛騨川森林計画区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、岐阜県中央東部に位置し、<sup>げろし</sup>下呂市を含む1市2町1村に所在する24,876haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区の多くが、地形の急峻な山岳地帯となっている。森林の現況は、ヒノキを主体とした人工林が多く、人工林71%、天然林29%となっている。人工林は、ヒノキ68%、スギ10%、カラマツ15%、その他7%とヒノキの占める割合が高い地域である。</p> <p>本地域は、銘柄材「東濃ひのき」の主要な生産地でもあり、国有林においても木材の持続的な供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>また、北アルプス南端の<sup>おんたけさん</sup>霊峰御嶽山などの山岳や飛騨川の溪谷美等の優れた自然景観に恵まれた地域であることから、レクリエーションの森など、森林浴や登山等保健休養の場としても広く国民に利用されるなど観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>このため、山地災害による人命・施設の被害防備、自然環境の保全、風致景観の維持、保健休養の場の提供等の機能発揮が期待されている。</p> <p>本事業は本計画区内の国有林の有する山地保全機能や水源涵養<sup>かんよう</sup>機能、保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化防止及び地域の活性化にも積極的に寄与するため、間伐等の森林整備等を積極的に推進するとともに、それに必要な路網の開設・改良等を実施し、健全な森林を育成しつつ、公益的機能の維持増進を図ることを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">249ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,139ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>5.7km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.0km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>2,759,115 千円（税抜き</td> <td>2,508,287 千円）</td> <td></td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	249ha			保育面積	1,139ha		路網整備	開設延長	5.7km			改良延長	1.0km	総事業費	2,759,115 千円（税抜き	2,508,287 千円）	
主な事業内容	森林整備	更新面積	249ha																				
		保育面積	1,139ha																				
	路網整備	開設延長	5.7km																				
		改良延長	1.0km																				
総事業費	2,759,115 千円（税抜き	2,508,287 千円）																					
費用対効果分析	総便益（B）	10,170,295 千円																					
	総費用（C）	3,272,192 千円																					
	分析結果（B/C）	3.11																					
中部森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当と判断される。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資すること、また、事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業の振興に寄与していることから、その必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとし、路網整備では、林業機械での長距離運搬となっている非効率な箇所を優先的に、トラック通行可能な林道に整備することによりコストの縮減を図ることとしている。 これらについて、費用便益分析の結果からも事業の十分な効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性 計画的な保育等の実施、森林整備と連携した路網の整備を通じて、多面的機能を発揮する健全な森林整備に資するものであり、また、森林施業の効率化、低コスト化についても民国連携の取組を通じて民有林への普及を図ることとしている。加えて、木材の安定供給を行うなど山村の活性化にも資するものとなっていることから、有効な事業であると認められる。</li> </ul>																						

新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：岐阜県

施行箇所：飛騨川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,270,549	
	流域貯水便益	930,523	
	水質浄化便益	3,509,465	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,766,093	
環境保全便益	炭素固定便益	651,323	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	8,351	
	木材生産確保・増進便益	488,416	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	542,657	
維持管理費縮減便益		2,918	
総 便 益 (B)		10,170,295	
総 費 用 (C)		3,272,192	
費用便益比	$B \div C = \frac{10,170,295}{3,272,192} = 3.11$		

# 森林環境保全整備事業 飛騨川森林計画区 事業概要図

## 森林整備事業（地拵え前）



## （地拵え後）



岐阜森林管理署（地拵え）

## 森林整備事業（下刈作業中）

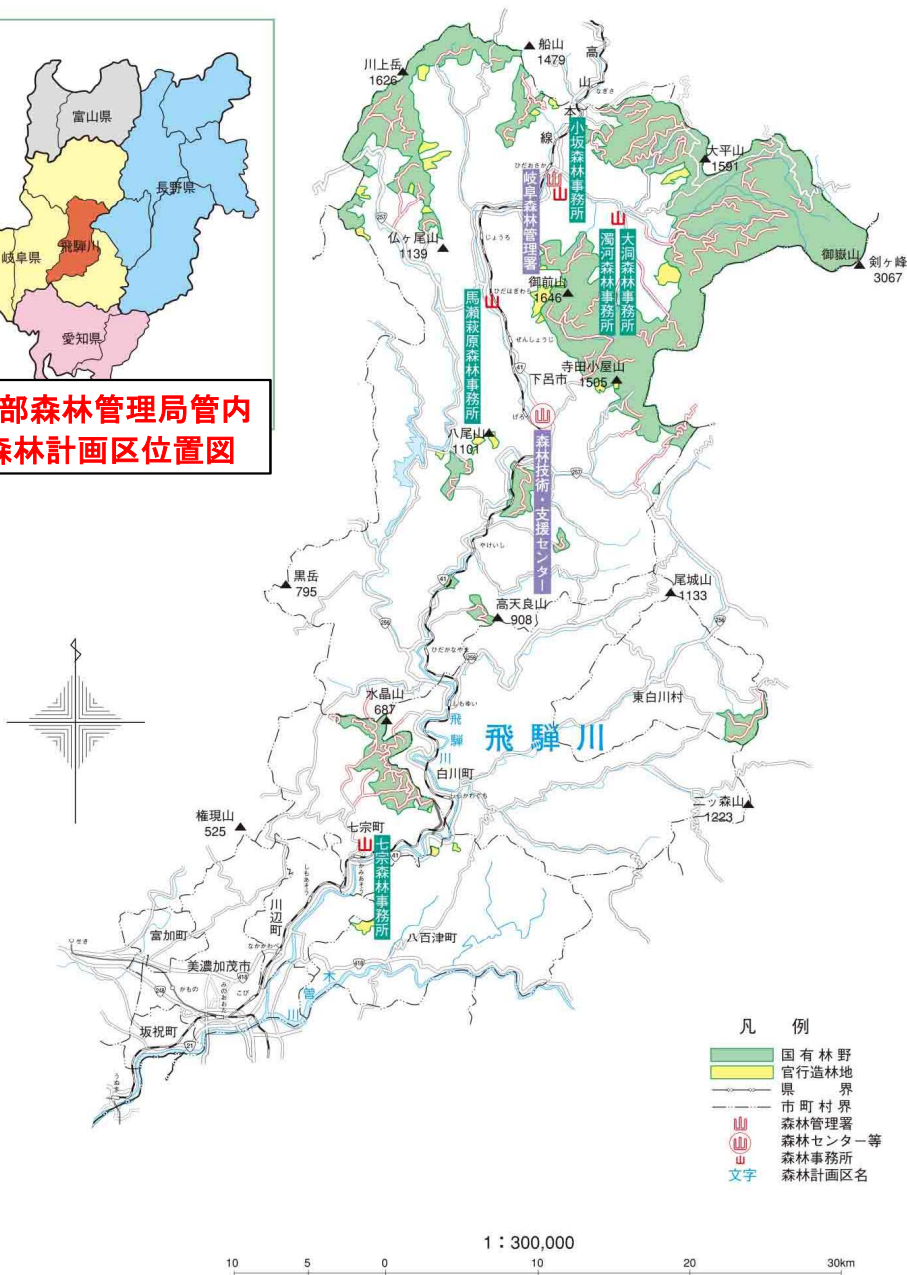


岐阜森林管理署（下刈）

## 飛騨川森林計画区の国有林位置図



## 中部森林管理局管内 森林計画区位置図



## 路網整備事業（新設工事）



岐阜森林管理署 ミススリ林道 新設工事

## 森林整備事業（獣害防除対策）



岐阜森林管理署（シカ防護柵）



岐阜森林管理署（シカ防護柵）